

第8回 環境振動評価小委員会 議事録 (案)

A. 日 時 2010年10月5日 火曜日 17:30～19:30

B. 場 所 建築会館 会議室

C. 出席者 益田主査、他8名

D. 提出資料 (提出委員名敬称略)

No. 8-0 第7回環境振動評価小委員会議事録 (案)

No. 8-1 第 Annex 回環境振動評価小委員会議事録

No. 8-2 軌道一体構造となる駅ビルでの固体音対策としての防振軌道の設計と施工

No. 8-3 『広域実測 WT』活動報告

No. 8-4 センサ IC タグを核としたアンビエントネットワークの地盤技術への適用

No. 8-5 無線センサネットワーク総合カタログ

No. 8-6 『評価 WT』の活動について

No. 8-7 『説明性 SWG』資料 ー現状の実態調査例ー

E. 議事内容

1. 議事録確認 (資料 8-0)

◇ 以下訂正

× 説明性の例：強風時に制振装置を OFF に

○ 説明性の例：強風時に安全性確保の為に制振装置を OFF にする場合もあり

2. 議論

1) 資料 No. 8-1 「第 Annex 回環境振動評価小委員会議事録」について益田主査より報告

◇ 今夏に行った新博多駅見学会について報告

2) 資料 No. 8-2 「軌道一体構造となる駅ビルでの固体音対策としての防振軌道の設計と施工」について益田主査より説明

◇ コイルばねを用いた活線下の防振対策について説明

◇ 水平方向の揺れへの対策は？ ⇒ 応答計算を行い検討、サイドにブロックがあり過大な揺れに対応可能

3) 資料 No. 8-3 『広域実測 WT』活動報告」についての説明

◇ 2010年8月30日に会合

◇ 既存建築物の解体時の振動を対象とし、振動マップを考えるのも良いのでは

◇ 地上・地下の鉄道による沿線振動を対象として振動マップを想定する

4) 資料 No. 8-4・5 についての説明

◇ 無線センサネットワークを用いて振動の広域実測を行う可能性を検討

◇ 現状では振動センサの精度 (分解能) に問題がある

◇ 今後もセンサネットワーク等の情報の集積に努める

5) 資料 No. 8-6 『評価 WT』の活動について」についての説明

- ◇ 居住性能評価指針検討 WG（横山主査）との差別化・連帯を検討
- ◇ 「現状と基準」後の研究成果・知見の調査とまとめを行う
- ◇ 環境振動の捉え方を検討 ⇒ 発生源別のみならず波形別で分類する等

6) 資料 No. 8-7 『説明性 SWG』資料－現状の実態調査例－』についての説明

- ◇ 環境振動に関して補足説明が必要と思われる内容の洗い出し
- ◇ 指針等を用いての説明において顧客等への理解を如何に得ることができるのか検討
- ◇ 現行指針では網羅できない分野もあるのでは？ Ex. 強風などにより振動が長時間に渡る場合など
- ◇ 潜在的に潜む問題（超高層建築物の最上階の揺れ等）を説明する必要もあるのでは

3. 次回以降の課題

- ◇ 4つの WT にて活動を行い、その結果を小委員会にて報告を行うこと

4. 次回開催予定

- ◇ 2011年1月14日（金）、17：30～ 本会会議室にて
終了後、新年会の予定

5. 他（連絡事項等）

- ◇ 2011年1月18日第29回環境振動シンポジウム開催